



全力でやることの大切さ



校長 赤松 弘一



3年生による演技『東中ソーラン』

9月19日(日)、台風一過の秋晴れの元、第40回体育大会が行われました。陽射しは強かったですが、吹く風が秋らしく乾いており、絶好の日よりでした。雨のために練習時間が十分とれなかったり、台風のために

本番が順延になったりと、直前まで変更が相次ぎましたが、生徒の皆さんはよく辛抱して取り組みました。保護者の皆様にもご理解いただきましたこと、感謝申し上げます。また、無観客という形での実施となりましたため、体育大会の一部始終をライブ配信するという初めての試みを行いました。校舎4階からの撮影で個々の子どもの表情はわかりませんが、体育大会の臨場感が少しでもお伝え出来たかと思えます。保護者の皆様には、来校せずにご家庭での視聴に協力いただき、ありがとうございました。

今回の体育大会で心に残ったのは、生徒の全力を出しきる姿です。リレーでは大きく先頭から遅れていても、最後まで必死で走りきる姿がありました。スウェーデンリレーのアンカーは、長い距離をへとへとになりながらもゴールを駆け抜けました。学年種目では仲間との協力が欠かせません。失敗したクラスメイトにも励ましの声をかけ、着順が最後になっても拍手で迎える。見ていてとてもさわやかな気持ちになりました。3年生の東中ソーランは大会のフィナーレを飾るにふさわしく、見応えがありました。声を出せたらどんなにか気持ちも高まったと思いますが、無言のままでも、伸ばした指先や力強いステップに気迫が込められていました。全力で演技する君たちを見ていて、とても心が熱くなりました。

競技に全力で取り組んだ人は、やり切ったという充実した気持ちと、満足感で笑顔になるでしょう。そんな君たちを家で迎えた家族の方も幸せな気持ちになると思います。何事によらず、全力を注いで物事に取り組むということは大切なことだと改めて感じました。自分がそれによつての成長するのはもちろんですが、全力を出し切る姿を見ている人も感動します。そして成長したあなたを見て、いつも心配してくれる家族や、支えてくれている人も幸せになれるのです。

体育大会で東中の先生が、ユニフォームとして着用していた白いポロシャツの背中には「流す汗と笑顔が、違う誰かの幸せにもつながる」と書かれています。直接相手に何かをしてあげる事は無くても、ただ、あなたが一生懸命に全力で頑張ることで、あなたと、あなたの周りの人は間違いなく幸せになるでしょう。

みな日々少しずつ成長していますが、学校行事に主体的に取り組むことで、一段と成長すると感じます。次は文化祭でみんなの全力を見たいと思います。

流す汗と笑顔が
違う誰かの
幸せにもつながる